

まちづくりセンターの評価検証に関するアンケート集計結果等について

1 評価検証の参考とするためのアンケート調査について

(1) まちづくりセンター職員を対象としたアンケート

- ア 対 象 まちづくりセンター職員
- イ 調査期間 令和5年1月12日～令和5年2月13日
- ウ 回収率 100%
- エ 主な特徴
- ・教育委員会から市長部局に所管が変わったことによる大きな変化や混乱は少なかった。
 - ・町内会、自治会及び地区まちづくり推進委員会等のまちづくり団体の支援（事務局業務等）が業務として位置づけられたことや、貸館利用の変化等に伴い、職員の業務量は増加傾向にある。
 - ・貸館や地域行政窓口の件数が多いセンターや、地区まちづくり推進委員会の事務局業務が多いセンターを除き、職員数については適正という意見が多かった。

(2) 地区まちづくり推進委員会を対象としたアンケート

- ア 対 象 地区まちづくり推進委員会
- イ 調査期間 令和5年1月12日～令和5年2月13日
- ウ 回収率 100%
- エ 主な特徴
- ・公民館からまちづくりセンターに移行したことにより、半数の地区まちづくり推進委員会が事務局機能等の充実があったと回答している。
 - ・まちづくりセンターの管理運営を地域で担うことができる、または担ってみたいと回答した委員会は20%未満であった。

(3) 他自治体を対象としたアンケート

- ア 対 象 県内7市及び中国地方内人口4万人以上10万人未満の自治体
- イ 調査期間 令和5年1月12日～令和5年2月13日
- ウ 回収率 75%
- エ 主な特徴
- ・施設の所管部局は教育委員会が40%、市長部局が53%、教育委員会と市長部局両方が7%となり、概ね半々であった。
 - ・施設の管理運営は、直営が60%、指定管理が13%、その他（委託等）が27%であった。
 - ・施設数や職員数については、浜田市が多い結果となった。

(4) 市民を対象としたアンケート

- ア 対 象 浜田市民
イ 調査期間 令和5年6月16日～令和5年7月7日
ウ 回収率 33.2%
エ 主な特徴
- ・公民館からまちづくりセンターに移行したことについて知らない市民が33%であった。
 - ・「まちづくりセンター」という名称については、馴染んでいると回答した市民は25%となった。公民館という名称が馴染みすぎているため、まだまだ馴染めないという理由が大半を占めた。
 - ・まちづくりセンターを利用したことがある市民と利用したことが無い市民については、概ね半々であった。
 - ・開館時間と休館日は、ちょうど良いという意見が大半であった。

(5) まちづくりセンター施設利用者を対象としたアンケート

- ア 対 象 まちづくりセンター利用者
イ 調査期間 令和5年6月12日～令和5年7月7日
ウ 回答数 428件
エ 主な特徴
- ・まちづくりセンターを1週間に1回以上利用している利用者が半分以上を占めた。
 - ・「まちづくりセンター」の名称については、馴染んでいると回答した利用者は63%となった。
 - ・開館時間と休館日は、ちょうど良いという意見が大半であった。
 - ・職員の接客対応の満足度は、「とても満足している」、「概ね満足している」の2つで98%を占めた。

※詳細は資料6のとおり

2 今後のスケジュールについて

- (1) まちづくりセンターの視察 令和5年8月2日(水)
(2) 評価検証のまとめ作業 令和5年10月頃～
(3) 評価検証報告書の作成・提出 令和6年7月頃

※詳細は資料7のとおり